特ラ機構レポート No.191

令和５年３月１日

令和４年度 第５回 理事会 報告 2

運用連絡と調整の総件数 8

イベント報告 10

新規加入会員紹介コーナー 11

イベント情報 12

ちょっとブレイク 13

地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた電波発射について .. 16

適格請求書発行事業者番号のお知らせ 18

事務局便り 19

［理事会報告］　令和4年度　第5回理事会

1．日　時　令和5年2月1日㈬　15 時～ 17 時

2．出席者　（理事長・理事・監事総数 22 名）

出　席　［理事長］ 渡邉邦男
［理　事］ 池上行大，岩井佳明，大塚　豊，小野良行，北口紀雄，小林　敬，
小間新五，鈴木久利，瀬谷正夫，吉田廣嗣
［監　事］ 伊藤　博，國枝義久

委任出席　［理　事］ 石橋　透，上田好生，小俣公洋，金光浩昭，西澤勝之，則行正信，
萩原桂吾，本間俊哉，右田研介

3．令和４年度 第５回理事会 開催挨拶

皆様、本日はお集まり頂きありがとうございます。

今日は少し暖かくなりましたが、しばらくは極寒の気候が続きますのでお気をつけください。コロナも終息が見えず、スタッフの感染対策などでも気が抜けないことと思います。

さて、今回の理事会では通常の報告に加え、「特定ラジオマイクの利用効率向上に関する調査検討会」と「700MHz 帯における特定ラジオマイクとの共用検討」の報告があります。一つは、TVWS 帯のデジタルラジオマイクの利用効率を上げる検討会です。もう一つは、特定ラジオマイク専用帯のガードバンドでもある 715 ～ 718MHz を狭帯域 LTE 移動局として利用した場合の影響を検討するものです。また、審議事項では令和５年度の「会員支援について」の審議があります。皆様の忌憚ないご意見を頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

それでは、令和４年度第５回理事会を開催します。

渡邉理事長より以上の挨拶があり、第５回理事会が開会した。

4．議　　題

【報告事項】

（１）運用連絡と調整の近況について　別紙資料にて説明（理事会資料：８～ 10 頁）

a. 運用連絡数の推移　b. イベント報告　c. 干渉報告

（２）各委員会報告

① 賛助委員会

今期の開催はなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会の開催はなかったが、小川技術委員長（ソニー株式会社）とは E メールや電話などで連絡を取り合い、今後の対応などを協議した。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

第 23 回特ラ機構技術賞の募集について、特ラ機構レポート 189 号に続き、令和５年1月1日㈰ 発行の 190 号においても募集案内を掲載・同封した。応募の数によっては3月発行の特ラ機構レポート 191 号にも案内を掲載する予定。

④ 編集委員会　特ラ機構レポート

第 95 回編集委員会は、令和5年1月 24 日㈫ に当機構事務局にて開催した。出席者は4名。190 号を振り返って反省点等を確認した他、191 号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

特ラ機構レポート 190 号は、令和5年1月6日㈮ に発送済。191 号は2月下旬に発送予定となっている。内容は、理事会報告、新規加入会員紹介、技術賞募集記事、ちょっとブレイクなどを掲載予定。

（3）総務省関係、ＡＲＩＢ関連の報告

① 総務省関連

令和4年 12 月 15 日㈭、総務省総合通信基盤局電波部移動通信課　久岡氏より年末・年始に於ける新型コロナウイルス感染症対策などに関する政府方針をご案内頂き、当機構 Web サイトなどで告知に努めた。

令和4年 12 月 20 日㈫、同じく総務省よりサイバーセキュリティへの注意喚起に関するご案内を頂き、告知に努めた。

② 各総合通信局関連

免許申請や変更申請、再免許申請等において、各総合通信局の担当者と密接に連絡を取り、事例に応じて助言や協力を頂いている。

③ ＡＲＩＢ関連

令和5年1月 16 日㈪、小電力無線局作業班ラジオマイク WG より、ARIB STD-15 5.1 版の英語翻訳（案）の確認依頼があった。

（4）ＴＶホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

① 統合ＤＢ作業班

今期、関連会議等の開催はなかった。

② 幹事会

今期、幹事会の開催はなかった。なお、次回幹事会の予定は令和5年3月 16 日㈭ となっている。

③ ＷＳ協議会負担金の支払い状況

令和 4 年度第 3 四半期の WS 協議会負担金（登録費・運用調整費）については、WS 協議会側と確認作業をおこなった結果、合計 180,900 円となった。

令和 5 年 1 月 30 日㈪ に支払いを完了した。

（5）チャンネルリストについて（令和 4 年 12 月 1 日～令和 5 年 1 月 31 日）

新規申請について

令和 4 年 12 月 7 日㈬、総務省関東総合通信局ならびに北海道、東海、中国各総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は令和 4 年 12 月 26 日㈪ にシステム登録を完了した。

令和 5 年 1 月 13 日㈮、総務省関東総合通信局ならびに近畿を通じて、TVWS チャンネル

リストの新規検討を申請した。

同、新規件名は令和５年１月 30 日㈪ にシステム登録を完了した。

＜新たに追加された施設＞

ウポポイ（民族共生象徴空間），リーホースタジオ，代田スタジオ，ポートメッセなごや（新第一展示館），岡山芸術創造劇場，ミスミグループ本社，森ノ宮ビッグトップ

計７施設

＜名称が修正された施設＞

オルタナティブシアター　⇒　I´M A SHOW

（６）情報通信月間協議会報告

令和４年 12 月 13 日㈫、同協議会事務局から「2023 年度 情報通信月間」のテーマについて、応募のあった複数案に対する評価依頼があり、これに対して回答した。これらの集計結果を基に、下記のとおりテーマが決定した。

2023 年度情報通信月間テーマ『デジタル化、変えよう「くらし」と「仕事」の仕組み』

その他、令和５年１月 19 日㈭、同協議会事務局から会計監査に関する報告書一式のメール送付を受けた。また、令和５年１月 26 日㈭ には「2023 年情報通信月間」行事の募集要領について、メールにて連絡があった。

（７）令和５年度の再免許手続き

令和５年度の再免許（免許更新）手続きについて、総務省各総合通信局へ申請作業を進めている。なお、再免許後の免許状は令和５年５月頃に交付される見込みで、交付後、当機構にて記録した後に各会員へ送付する予定となっている。

（８）地上４Ｋ・８Ｋデジタル放送の実験試験局運用について

令和５年１月の実験スケジュールを、特ラ機構 Web サイトおよび Twitter にて告知をおこなった。また、実証実験は令和５年２月末をもってすべて終了となった。今後しばらくの間は、実験終了の旨を特ラ機構 Web サイトおよび Twitter に掲載することとした。

（９）短信、その他

① Web サイト更新

今期分のチャンネルリスト検索システム等の定期更新をおこなった。その他、料金シミュレーションの更新や、周波数配分情報の告知等をおこなった。

②「新世代モバイル通信システムの技術的条件」のうち「狭帯域 LTE-Advanced に関する技術的条件」の検討開始について

これは特定ラジオマイク専用帯上部のガードバンドでもある 715 ～ 718MHz を LTE 狭帯域（３MHz）移動局として利用可能かどうかを、実証実験も踏まえて共用検討するものである。

令和４年 12 月 23 日㈮、情報通信審議会　情報通信技術分科会　新世代モバイル通信システム委員会　技術検討作業班「700MHz 帯等移動通信システムアドホックグループ」(第１回) の検討会が、Web 上で開催された。

令和５年１月 23 日㈪、同上の「700MHz 帯等移動通信システムアドホックグループ」（第２回）の検討会が、Web 上で開催された。

③「TVWS 帯特定ラジオマイクの利用効率向上に関する調査検討会」

令和５年１月 16 日㈪、TVWS 帯特定ラジオマイクの利用効率向上に関する調査検討会（第２回）が、Web 上で開催された。

令和５年１月 26 日㈭、TVWS 帯特定ラジオマイクの利用効率向上に関する調査検討会（第３回）公開試験が、新国立劇場オペラパレスホワイエで開催された。

⇒以上の報告事項について質問を受け付けたが、特になかった。

5.【審議事項】

（１）会員の入退会　令和４年 12 月～令和５年１月分

［入　会］

北海道：株式会社ファイターズスポーツ＆エンターテイメント
（エスコンフィールド HOKKAIDO）
東　北：山形市民会館管理運営共同事業体　代表　安達　俊章（山形市民会館）
関　東：株式会社サンライズプロモーション東京（I′ M A SHOW），
株式会社ユーザベース（ユーザベース），SAKUON 合同会社，
牛久市（牛久市中央生涯学習センター）
近　畿：公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団（高槻城公園芸術文化劇場）

［退　会］

信　越：唐沢　紀彦

（２）会員数

令和５年１月末現在　　1,541 会員

（３）無線局数

令和５年１月末現在　　47,761 局

〈内 訳〉

①〈470 ～ 714MHz 帯〉

ラジオマイク　　35,106 局（アナログ：24,912 局，デジタル：10,194 局）
イヤモニ　　2,543 局（アナログ：2,541 局，デジタル：２局）

②〈1.2GHz 帯〉

ラジオマイク　　10,112 局（アナログ：516 局，デジタル：9,596 局）

合　計　　47,761 局（アナログ：27,969 局，デジタル：19,792 局）

⇒　以上の報告について疑問質問をたずねたが、特になかった。

（４）「JPPA　AWARDS　2023」援助金について

（一社）日本ポストプロダクション協会より「JPPA　AWARDS　2023」の後援名義使用依頼に続き、令和４年 12 月に同行事に対する援助金協力依頼があった。

慣例により援助金 30,000 円の申し込みをおこなった。令和４年 12 月 20 日㈫ の振込みに対して領収証を受領した。

⇒上記の報告審議について全員の了承があった。

（５）令和５年度新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛による会員への影響支援

運用連絡は増加傾向で、コロナ禍でのイベントやコンサート開催も予定どおりにおこなわれることが多くなった。社会は通常の生活に戻りつつあるといえる。

一方でコロナ禍が完全に収束した訳ではなく、相変わらず現場での負担、経営的な負担は少なくない。そこで、令和５年度も下記のとおりに会員支援をおこなう事とした。

①　令和５年度の年会費・運用調整費を減額する

令和５年度に会員が負担する年会費・運用調整費の減額を実施する。減額は、年会費・運用調整費共１ヶ月分とする。

②　令和５年度年会費・運用調整費の納入期日を延長する

通常年では年会費・運用調整費の請求書を４月に発行送付、納入期限は同年７月末日としている。「支援内容」は総会に諮る必要があり、請求書は６月発行となるため、納入期限を令和５年 10 月 31 日㈫ まで延期する。

③　納入額の分割納付を認める

分割納付は、令和５年９・10・11 月の３ヶ月分割を可能とする。

注：９・10 月を０円、全額 11 月納入は認められない。

⇒以上の決定に全員の了承があった。

令和５年度の会員支援の検討決議の前に、理事・監事から仕事の現況と会員支援、その他報告事項に対する意見を聞いたので、以下に掲載する。

・新型コロナの弊社への影響はなくなりつつある。ただ、出演者が陽性となって、イベントが中断してしまうことはある。

・関西の状況としては、イベントも通常どおり開催されるようになり、ホールの取り合いとなっている。会場の空きを待っている状況もある。我々スタッフが仕事をするにあたっては、必ず抗原検査をするなど“ひと手間”増えている。そのための事務作業も増えている。

・番組制作の仕事は戻ってきている。ただ、新型コロナ感染防止を理由に取材を断られるこ

とが多いためか、ロケの現場は伸びていない。一方で海外ロケは幾らか増えている。番組の出演者が陽性となると収録は中断となり、回復後に再開となる。スケジュール的には綱渡りの状態だ。

・会議などの音響を担当しているが、外国人の学者が来日できないため、仕事は増えてない。今年は G7 があるため、関連の仕事は増えそうだ。ただし、要人が来日できないとなると厳しいものがある。

・テレビの仕事は戻ってきているが、出演者が新型コロナでキャンセルになることがある。イベントなどの仕事では、まだまだ抗原検査などをおこなっている。

・皆さんの話を聞いていると、良い状況になってきているようだ。ただ、これまでのダメージもあるので、特ラ機構としては少しでもその補填ができればと思う。来年度も会員支援を継続しておこなうこととして、例えば、年会費・運用調整費の１ヵ月分の減額でどうだろうか。

・年間を通して、弊社の売り上げはコロナ禍の前に戻った。これまで受けたダメージは、これから返済していくところだ。

・現場の話を聞き、運用連絡・調整の件数を見ているが、会員支援をどうするかの判断は難しい。特ラ機構の運営状況の許す限り、来年度も会員支援を継続したい。

・現場の数としては戻っているが、消毒や検査など新型コロナ対策の手間や費用がかかっている。働き方改革のことも考えなくてはならない。海外の仕事はまだ戻っていない。現場の件数は戻っても、売り上げとしては８割程度といったところ。コロナ禍で受けた融資については、金利が付かないのは３年間となっているので、これから返済しなければならない。

・「TVWS 帯特定ラジオマイクの利用効率向上に関する調査検討会」に参加している。弊社の現場の人間に聞いてみたところ、皆がアナログのチャンネルリストをデジタル 10mW で使いたいと熱望している。実際に現場では、デジタルでも 10mW のパワーで問題なく使えている。ぜひ、放送局側とも一緒になって実現してほしい。

次回理事会（予定）

日　時　：　令和５年４月 12 日㈬　15：00 ～ 17：00

場　所　：　中野サンプラザ　６階　フラワールーム

運用連絡と調整の総件数

2022 年 12 月～ 2023 年 1 月

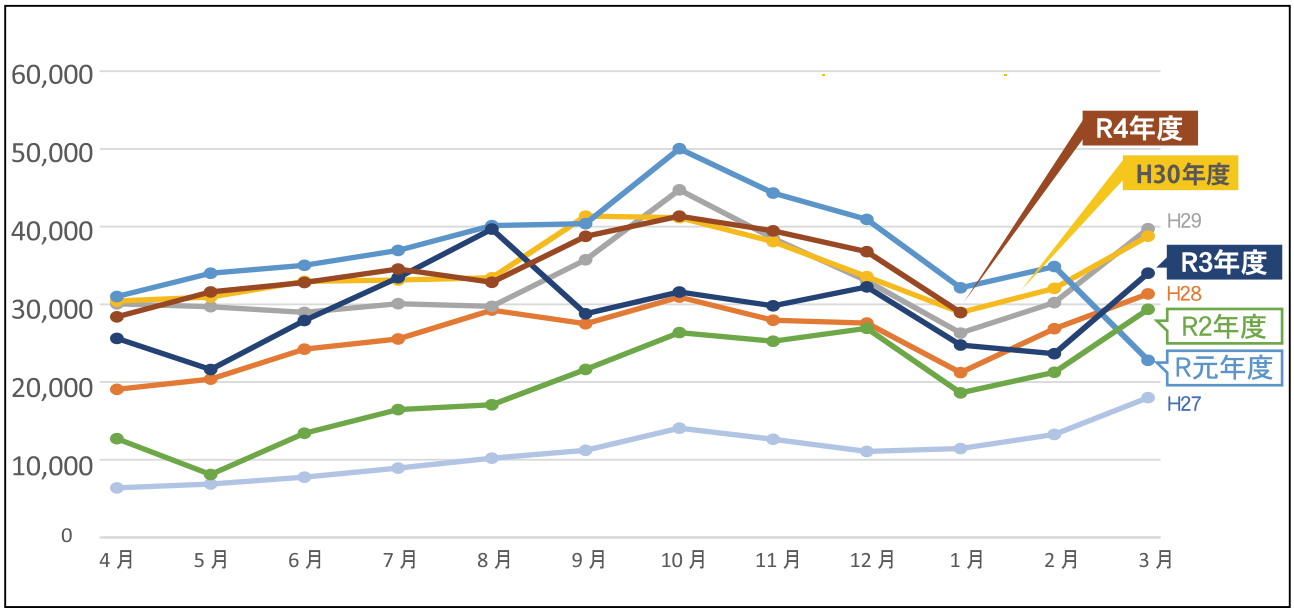
理事会資料 R4-5-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数

各年度 月別運用連絡・調整総件数表　※ 2017 年 4 月から 2019 年 11 月までのデータは 2019 年 12 月 2 日時点で再集計

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
27 年度	6, 412	6, 913	7, 797	8, 969	10, 260	11, 271	14, 135	12, 704	11, 130	11, 499	13, 329	18, 092	132, 511	11, 043
28 年度	19, 161	20, 485	24, 364	25, 677	29, 417	27, 646	31, 100	28, 105	27, 738	21, 327	27, 008	31, 517	313, 545	26, 129
29 年度	30, 228	29, 853	29, 120	30, 245	29, 898	35, 928	44, 971	38, 701	33, 207	26, 443	30, 385	39, 939	398, 918	33, 243
30 年度	30, 589	31, 104	33, 135	33, 311	33, 597	41, 578	41, 380	38, 279	33, 744	29, 109	32, 231	38, 981	417, 038	34, 753
R 元年度	31, 172	34, 184	35, 213	37, 136	40, 348	40, 598	50, 306	44, 561	41, 152	32, 302	35, 054	22, 921	444, 947	37, 079
R2 年度	12, 780	8, 139	13, 485	16, 543	17, 164	21, 739	26, 511	25, 387	27, 059	18, 711	21, 369	29, 520	238, 407	19, 867
R3 年度	25, 753	21, 727	28, 067	33, 609	39, 896	28, 938	31, 758	29, 970	32, 419	24, 898	23, 774	34, 194	355, 003	29, 584
R4 年度	28, 542	31, 766	32, 990	34, 732	33, 017	38, 963	41, 572	39, 666	36, 977	29, 098				34, 732
前年との差	+2, 789	+10, 039	+4, 923	+1, 123	−6, 879	+10, 025	+9, 814	+9, 696	+4, 558	+4, 200				（R 4 年度 4 ～ 1 月の月平均）

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



	(1) 2 ヶ月間の総件数を比較	
	2022 年 10 月～ 11 月	2022 年 12 月～ 1 月
前年	61, 728	57, 317
当年	81, 238	66, 075
増減	+19, 510	+8, 758

	(2) 1 ヶ月間の受信数を比較											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2023 年 1 月	2 月	3 月
前年	12, 118	10, 396	12, 929	14, 358	12, 593	11, 560	14, 734	14, 594	14, 292	10, 771		
当年	13, 023	14, 383	14, 801	15, 274	14, 367	16, 003	18, 061	17, 533	15, 703	12, 715		
増減	+905	+3, 987	+1, 872	+916	+1, 774	+4, 443	+3, 327	+2, 939	+1, 411	+1, 944	+0	+0

2. 前年度と当期（2022 年 12 月～翌 1 月）の 運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

（1） 2 ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

「第８波」が到来した 11 月中旬以降は一日ごとの感染者数が 10 万人を超え、 1 月 6 日に 24 万 6,600 人というピークを記録したあとは徐々に収まり、 1 月末には 5 万 7,000 人に減少している。しかし感染力の強い変異株の影響か、一日ごとの死亡数は 1 月 14 日に過去最多の 503 人を記録し、 1 月末時点でも 246 人となっている。

今後も現在実施している感染防止対策を徹底し、感染拡大を防ぐことが大切だと思う。

このような状況の中、 12 ～ 1 月の運用連絡・調整の総件数は、前年に比べ **8,758 件増**となった。

（2） 1 ヶ月単位での運用連絡受信数及び調整送信数を含めた総件数の推移から、令和 4 年 12 月～ 1 月を振り返る

この期間の受信数をコロナ禍前の令和元年と比較すると、12 月は令和元年度の 16,023 件から**約 2 % 減の 15,703 件**と微減、 1 月も 13,146 件から**約 3.3%減の 12,715 件**に留めている。

また、総件数の折れ線グラフを見ると、コロナ禍前の平成 30 年のグラフに年度を通してほぼ重なり、月平均でもほぼ同じ件数となっていることが分かる。次回の理事会までに 2 月から 3 月末までの受信数がどのように推移していくかは未知数だが、昨今の運用連絡件数が増加傾向を示しているという実感もあり、前回と同様に期待して待つことにしたい。

（3） 受信・送信 2 ヶ月間を比較

(3) 受信・送信　2 ヶ月間を比較

令和元年度 2019 年（12 月～ 1 月）		令和 2 年度 2020 年（12 月～ 1 月）		令和 3 年度 2021 年（12 月～ 1 月）		当期 2022 年（12 月～ 1 月）	
受信数	29,169	受信数	21,220	受信数	25,063	受信数	28,418
送信数	44,285	送信数	24,550	送信数	32,254	送信数	37,657
計	73,454	計	45,770	計	57,317	計	66,075
比率（送信 / 受信）	1.52	比率（送信 / 受信）	1.16	比率（送信 / 受信）	1.29	比率（送信 / 受信）	1.33

運用連絡【受信数】を見ると、12 月～ 1 月は前年の 25,063 件に対し当期は 28,418 件で、**3,355 件増加**した。

【連絡数に対する調整数の比率】は、前年の 1.29 倍から **1.33 倍に上昇**した。

3. 各年度の月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

各年度月別運用連絡・調整総件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
29 年度	30, 228	29, 853	29, 120	30, 245	29, 898	35, 928	44, 971	38, 701	33, 207	26, 443	30, 385	39, 939	398, 918	33, 243
30 年度	30, 589	31, 104	33, 135	33, 311	33, 597	41, 578	41, 380	38, 279	33, 744	29, 109	32, 231	38, 981	417, 038	34, 753
R 元年度	31, 172	34, 184	35, 213	37, 136	40, 348	40, 598	50, 306	44, 561	41, 152	32, 302	35, 054	22, 921	444, 947	37, 079
R 2 年度	12, 780	8, 139	13, 485	16, 543	17, 164	21, 739	28, 511	25, 387	27, 059	18, 711	21, 369	29, 520	238, 407	19, 867
R 3 年度	25, 753	21, 727	28, 067	33, 609	39, 896	28, 938	31, 758	29, 970	32, 419	24, 898	23, 774	34, 194	355, 003	29, 584
R 4 年度	28, 542	31, 766	32, 990	34, 732	33, 017	38, 963	41, 572	39, 666	36, 977	29, 098	1. 11 倍	1. 16 倍		
前年比	1. 11 倍	1. 46 倍	1. 18 倍	1. 03 倍	0. 83 倍	1. 35 倍	1. 31 倍	1. 32 倍	1. 14 倍	1. 17 倍			+116, 596	+9, 717

	2020 年度と 2021 年度を比較	
	1 年間の合計	1 ヶ月の平均
R２年度	238, 407	19, 867
R３年度	355, 003	29, 584
増減	116, 596 件増	9, 717 件増

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント （令和4年 12 月～5年 1 月）

イベント名	日 程	施 設	運用社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
ジャンプフェスタ 2023 ※	12 月 17 日～ 18 日	幕張メッセ	8	14	79	7	33	119
COUNT DOWN JAPAN 22/23	12 月 28 日～ 31 日	幕張メッセ	65		199	133	4	336
TOKYO AUTO SALON 2023 ※	1 月 13 日～ 15 日	幕張メッセ	20	21+3	94	8	58	160
IT WEEK 関西	1 月 18 日～ 20 日	インテックス大阪	3	4			19	19
釣りフェスティバル 2023 ※	1 月 20 日～ 22 日	パシフィコ横浜	5	8	14	0	39	53

※ 周波数配分を実施したイベント

【周波数配分】

① 令和 4 年 12 月 17 日㈯～ 12 月 18 日㈰、幕張メッセに於いて開催された「ジャンプフェスタ 2023」にて、8 社 14 ブース、合計 119 局（TVWS 帯 79 局，専用帯 7 局，1.2GHz 帯 33 局）の周波数配分をおこなった。

なお、同イベントホールにて同時開催された「私立恵比寿中学校」の音響業務を担当された株式会社エムエスアイジャパン東京の庄司萌捺美さんには運用情報をご提供頂き、「ジャンプフェスタ 2023」に於ける周波数プランの作成にご協力頂いた。

② 令和 5 年 1 月 13 日㈮～ 1 月 15 日㈰、幕張メッセに於いて開催された「TOKYO AUTO SALON 2023」にて、TVWS 帯 12 社 17 ブース 94 局、専用帯 8 局、1.2GHz 帯 6 社 5 ブース 3 取材 58 局、合計 160 局の周波数配分をおこなった。

令和 5 年 1 月 11 日㈬、1.2GHz 帯を隣接チャンネル間隔 400kHz にて 44 局分を配分した。
その後、追加申請などもあったことから周波数を折り返すかたちで、先に配分した周波数の中間周波数を使いながら、ナローバンドの占有周波数帯域幅 192kHz である追加機器の周波数を割り当てた。

今後、1.2GHz 帯でもブースの名称であるとか、番組取材であるとかの種別と、運用する位置情報があると周波数配分の参考になるので、運用連絡票への記入をお願いしたい。

③ 令和 5 年 1 月 20 日㈮～ 1 月 22 日㈰、パシフィコ横浜に於いて開催された「釣りフェスティバル 2023」にて、1.2GHz 帯 3 社 6 ブース 39 局の周波数配分をおこなった。

5. 干渉報告（令和 4 年 12 月～ 5 年 1 月）

今期、干渉報告はなかった。

新規加入会員紹介コーナー

令和４年 12 月～５年１月

東　北

● 山形市民会館管理運営共同事業体 代表 安達 俊章（山形市民会館）　会員番号 020-0058
代表　安達　俊章　　入会：令和4年 12 月6日　固定　　シュア…8局
〒 990-0039　山形県山形市香澄町2－9－ 45
運用担当者 長井　昇　　TEL 023-642-3121　E メール info@shanshanshan.jp
【ひとこと】 大ホール 1,202 名、小ホール 300 名程度の築 48 年になる山形市の施設を運営管理しています（指定管理者／山形綜合舞台サービス・山形ビルサービス）。

関　東

● 株式会社サンライズプロモーション東京（I'M A SHOW）　会員番号 030-1141
代表取締役　高橋　一仁　　入会：令和4年 12 月 16 日　固定　　シュア…8局
〒 100-0006　東京都千代田区有楽町2－5－1
運用担当者　上妻 圭志　　TEL 03-6665-9500　E メール info@imashow.jp
【ひとこと】 2022 年 12 月1日、有楽町にオープンした新劇場「I'M A SHOW」です。よろしくお願いいたします。

● SAKUON 合同会社　会員番号 030-1143
代表社員　佐久間　芳貞　　入会：令和5年1月 10 日　移動　　シュア…11 局
〒 121-0051　東京都足立区神明3－ 18 －2
運用担当者 佐久間　義和　　TEL 080-1823-4829　E メール yoshikazu-sakuma@sakuon.co.jp

● 牛久市（牛久市中央生涯学習センター）　会員番号 030-1144
市長 根本　洋治　　入会：令和5年1月 20 日　固定　　シュア…16 局
〒 300-1211 茨城県牛久市柏田町 1606 －1
運用担当者 澤城　裕介　　TEL 029-874-3111　E メール syougai@city.ushiku.ibaraki.jp

近　畿

● 公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団（高槻城公園芸術文化劇場）　会員番号 070-0339
理事長 桐山　清澄　　入会：令和5年1月 11 日　固定　　シュア…32 局
〒 569-0077　大阪府高槻市野見町6－8
運用担当者　劇場担当者　　TEL 072-671-1061　E メール soumu@takatsuki-bsj.jp
【ひとこと】 令和５年３月に高槻城公園と芸術文化劇場がオープンします。高槻城を思わせる塀や堀を再現した公園と、城下町の格子戸をイメージした木材ルーバーに囲まれた劇場が特徴的です。

イベント情報

春の兆しと共に、ようやく婚礼関係の運用連絡が増えて参りました。

また展示会等の関係では 1.2GHz 帯の運用が多く、19MHz の帯域をフルに活用するケースも増えて来ていますので、ブース名や展示ホールなどの名称も運用連絡票にご記入頂きますようお願い致します。

日　程	展 示 会 名	会　場
3 月 2 日～4 日	★東京マラソン EXPO	東京ビッグサイト
3 月 7 日～ 10 日	★ FOODEX JAPAN 2023	東京ビッグサイト
3 月 10 日～ 12 日	★第 57 回ジャパンゴルフフェア	パシフィコ横浜
3 月 14 日～ 17 日	IT ソリューション総合展	インテックス大阪
3 月 24 日～ 26 日	★東京モーターサイクルショー	東京ビッグサイト
4 月 13 日～ 14 日	エクステリア×ガーデンエキシビション 2023	幕張メッセ
4 月 12 日～ 14 日	第 2 回物流機器開発展	インテックス大阪

★：複数会員社による同時使用実績あり

♬ ルールを守って　クリアな運用 ♬

ちょっとブレイク お取り寄せのススメ 宇都宮みんみん編

宇都宮みんみん　本店

コロナ禍で気軽に旅行に行くことができない昨今ですが、手軽に現地のグルメを堪能できるのがお取り寄せグルメです。今回のちょっとブレイクでは、全国数多くあるお取り寄せグルメの中から宇都宮出身の筆者が独断で選んだ宇都宮餃子の老舗「宇都宮みんみん」の冷凍餃子をご紹介いたします。

「宇都宮みんみん」とは

栃木県宇都宮市に 1958 年（昭和 33 年）に開店した餃子専門店です。現在、栃木県内に 10 店舗あり、宇都宮餃子の二大巨頭といえば「みんみん」か「正嗣（まさし）」。宮っ子（宇都宮市民）はみんみん派か正嗣派に分かれているともいわれています。

餃子については、白菜をふんだんに使用しあっさりとした味が特徴でにんにくは旨みだけを残す工夫をしており、匂いはほとんどしないとのこと。

みんみんのお取り寄せ餃子

生餃子（冷凍）2 人前（12 個入り）

500 円（税込・送料別）

その他「3 人前」「5 人前」「10 人前」「15 人前」とラインナップ多数。

インターネット、電話、FAX で注文可

15 人前（90 個）を注文

「宇都宮みんみん」お取り寄せ Web サイト

https://www.minmin.co.jp/store/products/list.php

東京であれば、注文から 3 日ほどで到着します。

実食レポート

調理はみんみん公式 Web サイト「調理のコツ」を参考におこないました。

① 油を引いたフライパンに、凍ったまま並べる。間を少し空け気味にするとよい。

② 餃子の三分の一程度の高さまでお湯をかける。蓋をして強火で水分がなくなるまで蒸し焼きにする。

③ 水分がなくなり、お好みで焼目をつけたら完成！！

普段料理をあまりしない私でも、上手に焼けました。

焼き方によっては羽根つきを作ることもできそうでした。

肝心の味については野菜が多いということもあり、あっさりとしています。ですが、餡がたっぷりはいっていて食べ応えは十分。

ごはん・ビールどちらでも相性バツグンです！

総　評

焼く技術の問題なのか、お店の味と比べると少し劣ってしまう気がします。（現地で餃子を食べたのは 10 年以上前ですが…）

ただ、食べたいときに食べられる、行列に並ばずにすむといったメリットを考慮するととてもお得なお取り寄せでした。

一人暮らしにも関わらず 15 人前（90 個）を注文してしまいましたが、水餃子・揚げ餃子でも楽しめたので、残り 84 個も飽きることなく食べ進めることができました。

最後に、今回は宇都宮餃子を取り上げましたが、「ここのお取り寄せグルメはおいしい・お得」といった情報がありましたら是非、特ラ機構事務局までご連絡ください。

みなさんの情報お待ちしております！！

事務局　渡辺 聖尚

揚げ餃子はおやつにぴったり

ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。
お名前を出したくない場合はペンネームでも OK です。
レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。
まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

Email：office@radiomic.org

地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）では、地上デジタル放送の高度化に向けて、東京・名古屋・三重・大阪・福岡地区において実証実験に関わる電波発射を実施してきましたが、すべての地区の今年度（2022 年度 ）の実証実験は 2023 年 2 月末までに終了いたしました。今年度（2022 年度 ）も会員の皆様のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

放送サービス高度化推進協会（A-PAB）の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時情報を更新しておりますのでご確認いただきますよう、よろしくお願い致します。

https://www.tvkoudoka.jp/

併せて、当機構ホームページでも「地デジ４Ｋ・８Ｋ実験試験局情報」で特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていますのでご活用ください。

https://www.radiomic.org/

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

第23回特ラ機構技術賞

作品求む！

こんな作品を募集しています！！

■映画・番組・配信などの映像作品

■演劇・音楽・イベントなどの舞台作品

応募作品例：「ボランティアスタッフによるイベント・舞台公演」
「多数のマイクを使用する演目の PA や収録の工夫」
「良い音を収録するためのラベリア Mic 仕込テクニック」
「新しいシステムを活用した PA や収録」　・・・etc

詳細は特ラ機構 Web サイトをご覧ください

https://www.radiomic.org/Dwnld/info/2023gijutsu-sho.pdf

重要なお知らせ

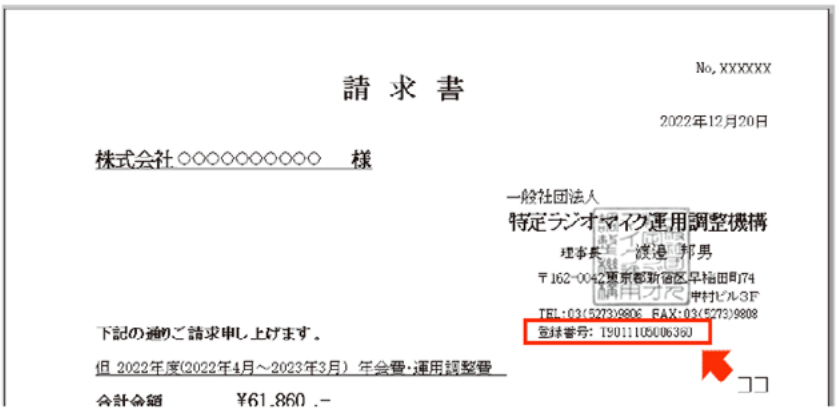
適格請求書発行事業者番号のお知らせ

2023 年 10 月 1 日よりインボイス制度が導入されることに伴い、適格請求書発行事業者登録番号の登録を完了いたしました（2022 年 10 月 31 日付）。

経理・会計部門で必要となる番号ですので、ご担当者様へお知らせください。

当機構事業者登録番号　：　Ｔ９０１１１０５００６３６０

当機構発行の請求書にも、下記の通り印字をしておりますので併せてお知らせいたします。


請 求 書

No. XXXXXX

2022年12月20日

株式会社○○○○○○○○○○　様

一般社団法人
特定ラジオマイク運用調整機構
理事長　渡邊　邦男
〒162-0042東京都新宿区早稲田町74
中村ビル3F
TEL:03(5273)9808　FAX:03(5273)9808
登録番号: T9011105006360

下記の通りご請求申し上げます。

但 2022年度(2022年4月～2023年3月) 年会費・運用調整費

会計金額　¥61,860 .-

ココ

会計担当：松崎

土日、祭日、深夜などの運用連絡にご注意下さい

運用連絡票のご提出に関しまして、日曜、祭日、深夜などの時間外での連絡が増えています。

特に多いのが、金曜日、土曜日の夜間連絡で、次の日の朝からの運用であったり、日曜日早朝の連絡で、同日曜日中の運用などです。

事務局と致しましても、土曜日の入力作業をはじめとし、連休中などの入力作業の対応もおこなっておりますが、業務時間外での連絡は運用直前の案件も増えているため、混信や干渉事故も危惧されますので、早めの連絡にご協力お願いします。

メール件名に運用日の記載をお願いします。

新型コロナウイルス、第 7 波以降の経済活動の増大などにより、急ぎの現場案件が増えております。

その対策と致しまして**運用連絡票をお送り頂くメールの件名には、「3/1 ～運用」などと、運用日が分かるようご記入下さい。**

事務局便り

■当機構へ再免許申請（免許更新）をご依頼頂いた皆様へ

令和 5 年 5 月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許申請（免許更新）を当機構へご依頼頂いた会員様につきまして、有効期間が延長された新しい免許状は、令和 5 年 5 月末までに運用ご担当へ郵送致します。

事務局免許担当／石川・渡辺きよたか

■ 2022 年度機構関係費用のお振込みをお願いします。

2022 年度決算期日が間近になりました。 毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。前年度よりの未納がある場合は併せてお振込みください。

New!

特ラ機構　SNS でも情報発信中！

☆ **YouTube**

チャンネルを開設しました。
動画を通して、技術的な情報、広報活動を更に解りやすくお伝えしていきます。
動画へのアクセスは　特ラ機構　YouTube　検索

☆ **Twitter**

リアルタイムなお知らせや連休などの営業情報をアップしていきます。
Twitter へのアクセスは　特ラ機構　Twitter　検索

どちらもフォロー頂ければ幸いです。
コメントなどでご質問やご要望など頂ければ、お答えして参りますのでご活用下さい。

編集後記

特ラ機構に送られてくる運用連絡票の件数がコロナ前に迫る勢いで推移しており、少しづつ日常が戻りつつあるのかなと感じる今日この頃です。最近はどこへ行っても以前より人が多いですね。先日、川越に遊びに行ったのですがアド街で紹介された影響もあるのか、かなりの人で賑わっておりました。食べ歩きなどしながら約 250 年続いている松本醤油商店をのぞいてみると運良く「もさ」に会うことができました♪もさは『岩合光昭の世界ネコ歩き川越･秩父編（2020 年 12 月 8 日放送)』で紹介された猫で、どこからかフラっと現れて看板猫になったとのこと。あちこちで可愛がられているせいか丸々と太って毛艶も良く、ゴロゴロと喉を鳴らしながらスリ寄ってきてとても人懐っこかったです。猫好きの方は会いに行ってみては？？

（松崎）

人気スイーツ店はこの行列！

醤油屋の有名猫『もさ（♂）』